

3Dプリンターが拓く 新たなリハビリ医療への可能性

日 時：平成27年6月7日（日）14時00分～16時00分
場 所：石川県地場産業振興センター新館 第12研修室
参加費：1,000円（定員100名、事前申し込み必要）
申し込み締め切り：6月1日（月）

近年3Dプリンターが医療の分野で応用されるようになった。特にリハビリテーションの分野においては今後様々な利用の可能性が考えられている。医療費削減の中、簡単に個々の患者のニーズにタイムリーに応じることのできる手段として、今後その導入・応用が期待されている。講演会ではリハビリ分野における実用化に向けてその可能性を各分野の専門家に語っていただく。

パネルディスカッション

座長 影近謙治（金沢医科大学医学部リハビリテーション医学講座）

1. 医療の現場における実情 —心臓血管外科医の立場から—
村上 新（金沢西病院院長）
2. リハビリテーション医療への展望 —リハ医の立場から—
影近謙治（金沢医科大学医学部リハビリテーション医学講座教授）
3. 理学療法分野における応用と可能性 —理学療法士の立場から—
小川雄右（金沢西病院リハビリテーションセンター長）
4. 作業療法分野における応用と可能性 —作業療法士の立場から—
柴田克之（金沢大学医薬保健学域保健学類教授）
5. 生産技術の現状と問題点 —エンジニアの立場から—
桶谷善徳（株式会社ハイテクス 代表取締役）
6. 製造のメカニズムと実演 —エンジニアの立場から—
岸 竜也（株式会社キシテック 代表取締役）

申し込み先：金沢医科大学リハビリテーションセンター

FAX 076-286-2381

問合わせ先：金沢医科大学リハビリテーションセンター内いしかわ地域リハビリテーション研究会事務局

担当 平木 TEL 076-286-2211（内）5392

申し込み書

所属名	職種名	氏名